

## 横浜市立大学はコニカミノルタジャパンと 産学連携推進に向け、協定を締結

横浜市立大学は、産学連携を推進するため、平成 30 年 4 月にコニカミノルタジャパン株式会社(所在地;東京都港区、代表取締役社長;原口 淳)と「産学連携に関する基本協定書」を締結しました。

コニカミノルタジャパン株式会社とは、本学の卒業生である社長の原口氏による講義やインターンシップの学生受け入れといった学生教育への貢献など、教育・研究において交流を重ねてきました。今回の協定締結により、学生教育を充実させ、本学研究者との人材および研究交流を強化することで、両者による産学連携活動の一層の推進を目指します。

### 【連携内容】

#### ○人材育成に関する連携の実施

コニカミノルタジャパン株式会社よりゲスト講師を招聘し、学部生に向けた様々なテーマの中で、ビジネスの現場ならではの視点に立った講義を担当いただくほか、経営科学系の学部 3 年次生を中心とした海外インターンシップを行うなど、今後もグローバルな観点から企業活動を学ぶ機会を学生に提供し、横浜から世界へ羽ばたく人材の育成に取り組めます。

#### ○共同での研究・開発等の展開

オフィス、医療・介護現場の働き方改革や生産性向上、医療・看護などを通じた地域の健康支援の分野における様々な共同研究等を実施します。

### 【コニカミノルタジャパン株式会社について】



KONICA MINOLTA

本社所在地;東京都港区芝浦 1-1-1 浜松町ビルディング

代表取締役社長;原口 淳(本学商学部卒・昭和 54 年卒業)

事業概要;

コニカミノルタグループで日本国内のお客様の接点となる企業。従来個別に営業活動を行っていた情報機器、医療、計測部門が一つになって、2016 年コニカミノルタジャパンとなりました。特に情報機器部門では長きにわたり働き方変革の自社実践を行い、そこで得た知見をお客様にも提供しています。

#### お問い合わせ先

(人材育成について) 横浜市立大学	学生・キャリア支援課長	上野 修	Tel 045-787-2090
(基本協定について) 横浜市立大学	研究企画・産学連携推進課長	渡邊 誠	Tel 045-787-2510
コニカミノルタジャパン株式会社	広報・CSR推進部	Tel 03-6311-9091	
E-mail : <a href="mailto:pr@fusion.bj.konicaminolta.jp">pr@fusion.bj.konicaminolta.jp</a>			

## 参 考

### 【コニカミノルタジャパン株式会社との主な連携実績】

#### ◆教育関連

- ・コニカミノルタジャパン株式会社 代表取締役社長 原口淳氏による講義

平成 28 年 5 月 30 日 総合講義（企業と会計） 受講者数 約 200 名

「Digital & Global 化時代の実像と求められる人財」

平成 29 年 12 月 4 日 管理会計論Ⅱ 受講者数 約 40 名

「いま、世界で起きていること」…世界の変化を踏まえ、果敢に夢を実現してきた経験談から、夢を見る力、できると信じる力の大切さを語る

- ・海外インターンシップの実施

派遣先	業務内容(平成29年度実績)	受入人数
Konica Minolta Business Solutions Asia Pte Ltd (シンガポール)	MBC Office： 管理会計業務（台数/売上/粗利実績把握、 当月売上進捗管理 等） Teban Office： マーケティング業務（販売管理、顧客分析、 ROI 分析 等）	2 名
Konica Minolta Business Solutions Australia Pty Ltd (オーストラリア・ シドニー)	Sydney Office： 会計知識等を用い、業務を通じた様々な課題解決や 駐在員を交えたグループワーク等を実施	1 名

受入期間； 3 週間（平成 29 年度実績：8 月 28 日～9 月 15 日）

※出発前 コニカミノルタジャパン株式会社による国内研修（2 日間）を実施。

#### 【本協定について】

名 称： 産学連携に関する基本協定書

目 的： 自らの社会的存在意義とその使命を深く自覚し、それぞれが有する人的・物的資源を有効に活用して、社会に貢献する。

内 容： 次に掲げるテーマの連携を行う。

- (1) 人材育成
- (2) 研究・開発
- (3) 助言・協力
- (4) 社会貢献
- (5) 締約者が合意するその他のテーマ